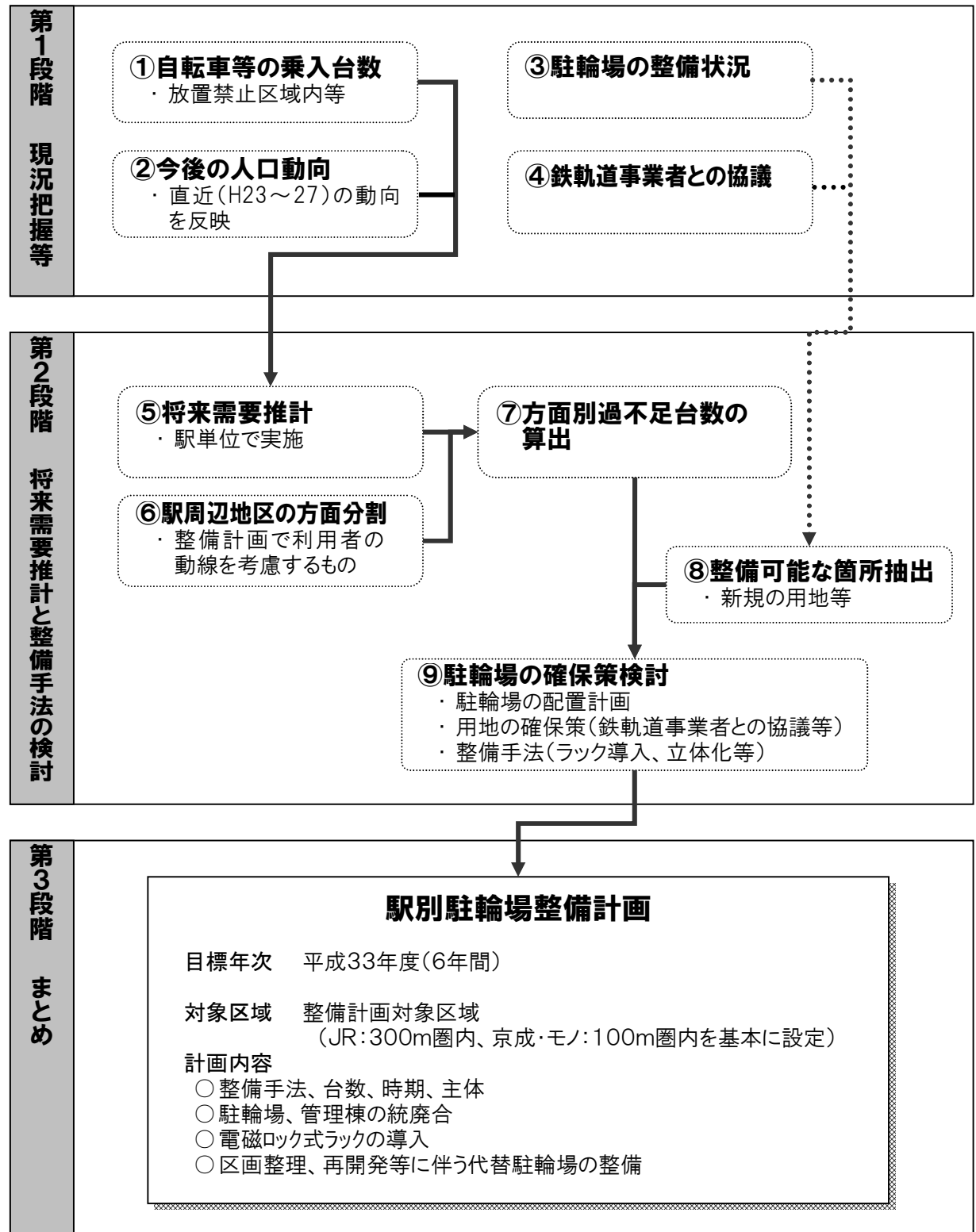


4. 駅別駐輪場整備計画

4-1 整備計画作成にあたっての考え方

(1) 検討フロー



(2) 現 況

○ 自転車等の乗入台数 …検討フロー図①

調査時点	平成27年6月2日(火)晴天の午前10時、午後3時の2回実施
調査方法	市の駐輪場内の自転車等、市内各駅周辺※に放置されている自転車等の台数をカウント。 ※ 放置禁止区域を指定している駅 … 区域内の自転車・原付の放置台数、及び 自動二輪の違法駐車台数 放置禁止区域の指定がない駅 … 総合計画の整備計画対象区域内(概ね 100 ～200m 圏内の区域)
調査結果	①乗入台数 約4万3千台 (内訳) 駐車約4万1千台、放置約2千台 (ピーク時、午後3時時点。) ②主な特徴 ・乗入台数がピークとなる時間帯は、ほとんどの駅で午後である。 ・放置台数は減少傾向にあるが、一部の駅では放置率が高い値となっている。

○ 駐輪場の整備状況 …検討フロー図③

箇所数	市内45駅周辺144箇所 ※H27.4.1 現在
収容台数	約6万3千台 ※H27.4.1 現在

(3) 将来需要推計

○ 今後の人口動向 …検討フロー図②

確保すべき駐輪場の収容台数の検討にあたり、計画目標年次(平成33年度)における各駅周辺への自転車等の乗入台数を算定するため、町丁目別の人口推計を行った。 ○平成23～27年の住民基本台帳等の登録人口の動向に基づいて算出した町丁目別の人口伸び率によって、平成27年の人口から平成33年の人口を推計した。

○ 将来需要推計 …検討フロー図⑤

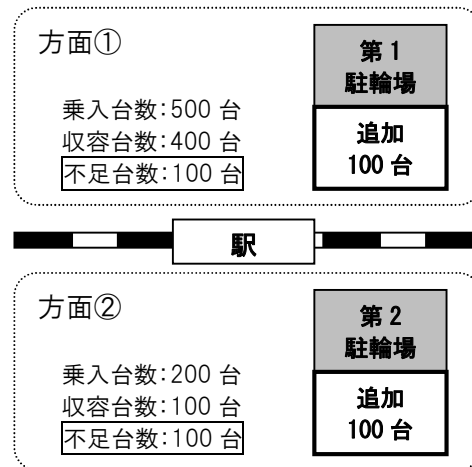
平成27年度の駐輪場の定期利用登録者の住所地別の構成比を用いて、駅口別の乗入台数(駐輪場内の駐輪台数+放置台数のピーク台数を使用)を按分し、町丁目別の人口伸び率を乗じて、平成33年度時点の乗入台数を推計した。 さらに、人口伸び率による将来需要推計には反映されない直近の大規模開発計画等による新規乗入需要を考慮した。
--

(4) 整備計画の検討

○ 駅周辺地区の方面別過不足台数の検討 …検討フロー図⑥・⑦

駅に乘入れる自転車等の動線を考慮した整備計画とするため、駅周辺地区を鉄道及び道路(幹線道路など)により分割を行った。

将来需要推計で算出した確保すべき駐輪場の収容台数を方面別に配分し、その方面における既存の駐輪場の収容台数と比較して、過不足台数を算出した。



○ 整備可能な箇所の抽出 …検討フロー図⑧

既設の駐輪場の再整備によって不足する収容台数を確保することができない駅周辺については、鉄軌道事業者に対する用地提供等の協力要請を行うとともに、未利用の市有地や広幅員歩道・高架下などの道路の一部など、利用可能な箇所を抽出した。

○ 駐輪場の確保策の検討 …検討フロー図⑨

確保すべき収容台数を充足させるため、用地やコストなどに関する制約を踏まえた整備・再整備の手法について検討を行った。

4-2 駅別駐輪場整備計画

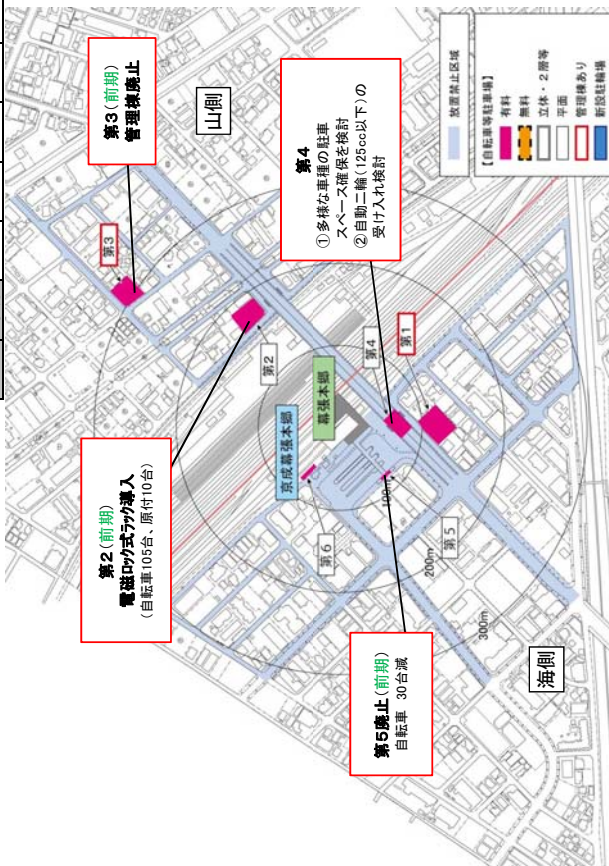
1.	幕張本郷駅(JR)・京成幕張本郷駅(京成)	… 37
2.	幕張駅(JR)・京成幕張駅(京成)	… 38
3.	新検見川駅(JR)	… 39
4.	稲毛駅(JR)	… 40
5.	西千葉駅(JR)	… 41
6.	千葉駅(JR)・千葉駅(㊦)・栄町駅(㊦)・京成千葉駅(京成)	… 42
7.	東千葉駅(JR)	… 43
8.	都賀駅(JR)・都賀駅(㊦)	… 44
9.	本千葉駅(JR)	… 45
10.	蘇我駅(JR)	… 46
11.	鎌取駅(JR)	… 47
12.	誉田駅(JR)	… 48
13.	土気駅(JR)	… 49
14.	浜野駅(JR)	… 50
15.	海浜幕張駅(JR)	… 51
16.	検見川浜駅(JR)	… 52
17.	稲毛海岸駅(JR)	… 53
18.	千葉みなと駅(JR)・千葉みなと駅(㊦)	… 54
19.	検見川駅(京成)	… 55
20.	京成稲毛駅(京成)	… 56
21.	みどり台駅(京成)	… 57
22.	西登戸駅(京成)	… 58
23.	新千葉駅(京成)	… 59
24.	千葉中央駅(京成)・葭川公園駅(㊦)	… 60
25.	千葉寺駅(京成)	… 61
26.	大森台駅(京成)	… 62
27.	学園前駅(京成)	… 63
28.	おゆみ野駅(京成)	… 64
29.	市役所前駅(㊦)	… 65
30.	県庁前駅(㊦)	… 66
31.	千葉公園駅(㊦)	… 67
32.	作草部駅(㊦)	… 68
33.	天台駅(㊦)	… 69
34.	穴川駅(㊦)	… 70
35.	スポーツセンター駅(㊦)	… 71
36.	動物公園駅(㊦)	… 72
37.	みつわ台駅(㊦)	… 73
38.	桜木駅(㊦)	… 74
39.	小倉台駅(㊦)	… 75
40.	千城台北駅(㊦)	… 76
41.	千城台駅(㊦)	… 77

【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第5駐輪場の廃止を検討する。

山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わない。なお、第2、第3駐輪場は民地借地による駐輪場であることから、安定的な収容台数の確保を前提として、今後の駐輪場の縮小及び廃止について検討を行う。

整備計画図							
全体	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	2,506	—	2,569	0	2,569	3,020	—
自転車	2,364	1.03	2,424	0	2,424	2,854	—
原付	142	1.02	145	0	145	166	—



海側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計		収容		不足 台数
					台数	必要台数	台数	台数	
計	1,216	—	1,228	0	1,228	1,325	—	—	—
自転車	1,128	1.01	1,139	0	1,139	1,229	—	—	—
原付	88	1.01	89	0	89	96	—	—	—
山側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計		収容		不足 台数
	台数				台数	必要台数	台数	台数	
計	1,290	—	1,341	0	1,341	1,695	—	—	—
自転車	1,236	1.04	1,285	0	1,285	1,625	—	—	—
原付	54	1.04	56	0	56	70	—	—	—

京成	6,795 人／日
----	-----------

(H26千葉市統計書)

第5期 廃止

[illegible]

日	1,055	(70)	0	1,055	(70)	100	(10)	115	(30)	
累計	3,020	(166)	-30	(0)	2,990	(166)	300	(30)	315	(30)

※主体欄 市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

	乗入 台数	収容 台数	
		駐車	放置
海側	1,189	1,184	5
計	1,181	1,176	5
自転車	8	7	0
原付		8	24

	乗入 台数	収容 台数	
		駐車	放置
山側	1,018	828	190
計	937	752	185
自転車	81	76	5
原付		76	127

【調査書】
(H26千葉市統計書)

幕張駅周辺では、海側で、若葉住宅地区計画があり、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は2,315台と推計している。北口では、区画整理事業の実施に伴い、平成30年度に第2駐輪場を廃止しなければならぬため、平成33年度の新設駐輪場の整備完了までの間、暫定の代替駐輪場を整備する必要がある。

計画期間(H33)の 伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.03	1.02		1.04	1.04		1.02	1.02
若葉住宅地区から想定される新たな乗入需要									
		居住人口		想定乗入台数		建設スケジュール等			
若葉住宅地区		10000人		40台		海側需要：平成29年度以降 順次入居予定			
東葛張土地区画整理事業に伴う駐輪場の統廃合予定									
H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	備考	
第2	600	600	廃止	—	—	—	—		
第3	80	80	80	80	80	80	80		
第5	158	158	158	158	158	廃止	—	新設駐輪場に統合	
第9	150	150	150	150	150	廃止	—	新設駐輪場に統合	
第10	80	80	80	80	80	廃止	—	新設駐輪場に統合	
代替	整備工事	571	571	571	571	撤去	—	新設駐輪場に統合	
計	1068	1039	1039	1039	整備工事	959	959		
新設					1039	1039	1039		

海側で付く。

.....

海側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計		収容 台数	不足 台数
					台数	割合		
計	1,189	—	1,236	40	1,276	1,518	—	—
自転車	1,181	1.04	1,228	40	1,268	1,494	—	—
原付	8	1.04	8	0	8	24	—	—
山側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 需要台数	推計		収容 台数	不足 台数
計	1,018	—	1,039	0	1,039	1,068	—	—
自転車	937	1.02	956	0	956	941	15	—
原付	81	1.02	83	0	83	127	—	—

駐主輪場

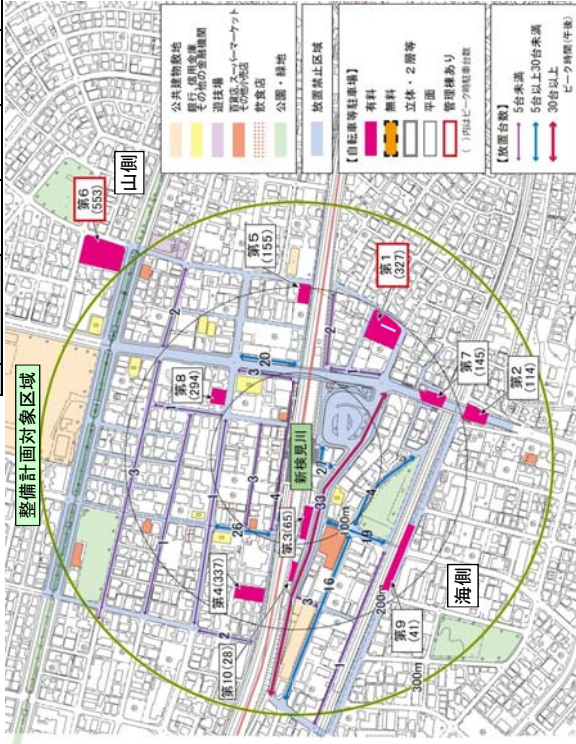
駅口	駐輪場	整備手法	台数			一時利用(内数)		整備時期	用地	主体
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	現況(原付)	計画(原付)			
海側	第1	芝面変更	317 (24)	8 (-16)	325 (8)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市
	第4	電送ロックボックス	522 (0)		522 (0)	200 (0)	220 (0)	前期	市	市
	第6		245 (0)		245 (0)	0 (0)	0 (0)	一	市	市
	第7	駐輪場外を越境	243 (0)	-175 (0)	68 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市
	第8	路上を越境	75 (0)	-75 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市
	京成第1		116 (0)		116 (0)	0 (0)	0 (0)	一	市	市
	計		1,518 (24)	-242 (-16)	1,276 (8)	200 (0)	220 (0)			
	山側	第2	禁止(H30.4)	600 (70)	-600 (-70)	0 (0)	100 (0)	0 (0)	前期	市
第3		80 (10)		80 (10)	0 (0)	0 (0)		市	市	
第5	禁止(H34.4)	158 (24)	-158 (-24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	
第9	禁止(H34.4)	150 (23)	-150 (-23)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	
第10	禁止(H34.4)	80 (0)	-80 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	
代替	代替	代替						前期	市	市
新設	新設	立体化整備						後期	市	市
駅計			1,068 (127)	959 (73)	959 (73)	0 (0)	140 (15)			
			2,586 (151)	-271 (-64)	2,315 (81)	100 (10)	140 (15)			
計						300 (10)	360 (15)			

※前期：海側 第4駐輪場への電磁ロック式トラック導入に伴い管理棟の移設検討

新検見川駅は、1日平均乗車人員が約2万3千人、自転車等の乗入台数は約2,200台である。
駐輪場は海側に6箇所、山側に4箇所設置しており、収容台数は3,709台となっている。

駐車台数・放置台数	図はピーク時の台数を示している。				
	全体	ピーク時乗入台数		収容 台数	
		駐車	放置		
計	2,231	2,059	172	3,709	
自転車	1,935	1,777	158	3,153	
原付	296	282	14	556	

図はピーク時の台数を示している。



海側	乗入 台数	収容		山側	乗入 台数	収容	
		駐車	放置			駐車	放置
		台数	台数			台数	台数
計	826	720	106	1,405	1,339	66	1,979
自転車	682	588	94	1,253	1,189	64	1,749
原付	144	132	12	152	150	2	230

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	23,467人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

新検見川駅周辺は、土地区画整理事業で整備された市街地が広がり、駅海側の検見川・稲毛土地区画整理事業(事業中)をはじめ、住宅の開発が進む地域からの乗り入れが多い。計画目標年次(平成33年)の乗入台数は2,290台と推計しており、現在、収容台数は3,709台を確保していることから充足している。

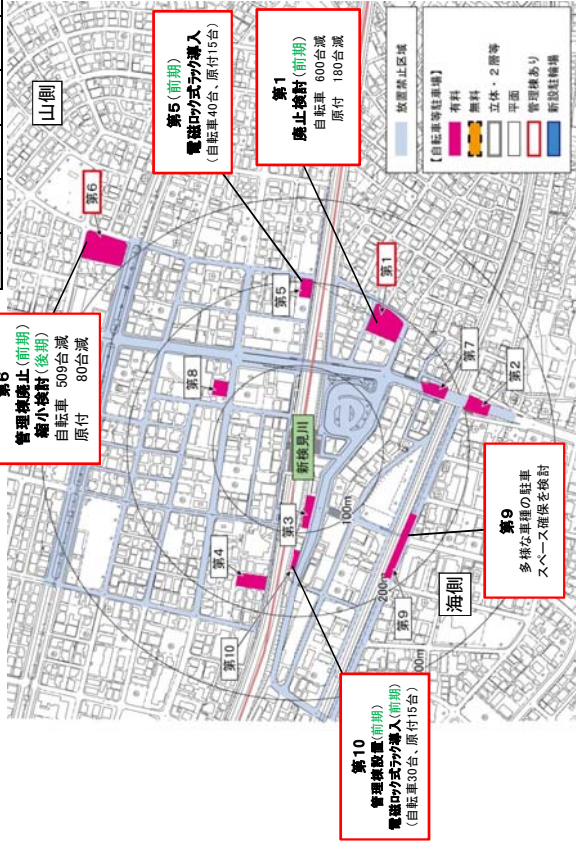
計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付	海側	山側	自転車	原付
	1.02	1.04	1.09	0.99	0.99	0.99	0.99

【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の廃止を検討する。また、第1管理棟を廃止し、第10駐輪場に管理棟及び電磁ロック式ラックを導入する。

山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第6駐輪場の縮小を検討する。また、第6管理棟を廃止し、第5駐輪場に電磁ロック式ラックを導入する。

整備計画図									
全体	乗入	伸び率	伸び後の	新規	推計	収容	不足		
	台数		必要台数	台数	台数	台数	台数		
	2,231	—	2,290	0	2,290	3,709	—		
	計								
	自転車	1,935	102	1,983	0	1,983	3,153	—	
	原付	296	104	307	0	307	556	—	



海側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数	山側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	826	—	900	0	900	1,730	—	1,405	—	1,390	0	1,979	—
自転車	682	1.09	743	0	743	1,404	—	1,253	0.99	1,240	0	1,749	—
原付	144	1.09	157	0	157	326	—	152	0.99	150	0	230	—

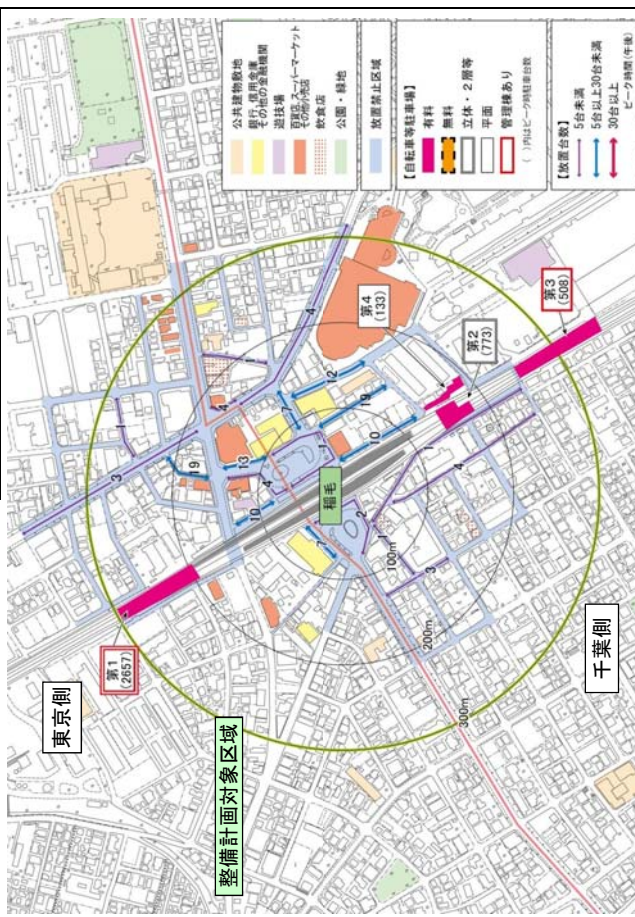
◆整備内容														
駅口	駐輪場	整備手法	台数				内一時利用				整備時期	主体		
			現況(原付)	整備(原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	計画(内原付)	用地	整備				
海側	第1	廃止検討・管理棟廃止	780 (180)	-780 (-180)	0 (0)	0 (0)	200 (50)	0 (0)	前期	民	市	運営		
	第2		251 (31)		251 (31)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
	第3		266 (32)		266 (32)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
	第7		208 (58)		208 (58)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
	第9		93 (25)		93 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
第10	電磁ロック式ラック・管理棟設置	132 (0)	-20 (15)	112 (15)	0 (0)	45 (15)	0 (0)	前期	市	市	市			
山側	計		1730 (326)	-800 (-165)	930 (161)	200 (50)	45 (15)	—	民	市	市	市		
	第4		494 (44)		494 (44)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
	第5	電磁ロック式ラック	197 (18)		197 (18)	0 (0)	55 (15)	0 (0)	前期	市	市	市		
	第6	管理棟廃止(前)・縮小検討(後)	953 (133)	-589 (-80)	364 (53)	100 (10)	0 (0)	後期	民	市	市	市		
	第8		335 (35)		335 (35)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市		
計		1979 (230)	-589 (-80)	1,390 (150)	100 (10)	55 (15)	—	民	市	市	市			
野計			3709 (556)	-1389 (-245)	2,320 (311)	300 (60)	100 (30)							

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

稲毛駅は、1日平均乗車人員が約5万人、自転車等の乗入台数は約4,200台となっている。
駐輪場は、東京側に1箇所、千葉側に3箇所設置しており、収容台数は5,074台となっている。

駐車台数・放置台数		全体		ピーク時乗入台数		収容	
測定日：平成27年6月2日							
図はピーク時の台数を示している。							
		計		計		計	
		自転車		自転車		放置	
		原付		原付		原付	
		695		678		17	
		3,502		3,393		109	
		4,225		4,225		5,074	



東京側	乗入 台数	収容		千葉側	乗入 台数	収容	
		駐車	放置			駐車	放置
計	2,714	2,657	57	計	1,483	1,414	69
自転車	2,227	2,183	44	自転車	1,275	1,210	65
原付	487	474	13	原付	208	204	4
			540				309

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	50,138人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

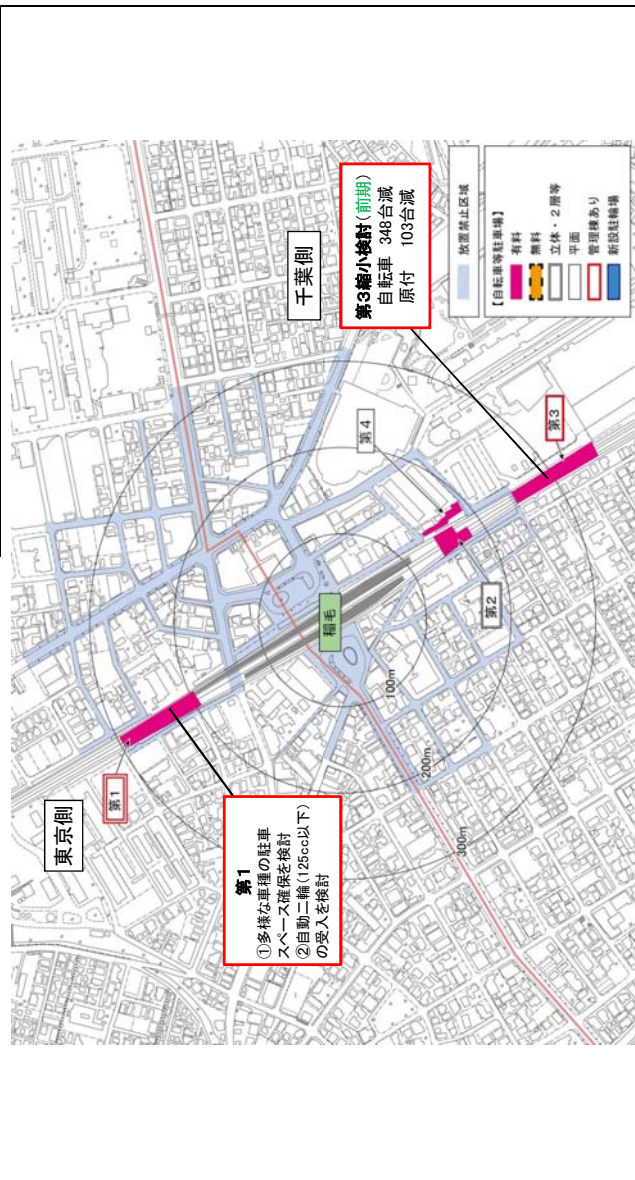
稲毛駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は4,209台と推計しており、現在、収容台数を5,074台確保していることから充足している。

計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付	東京側	原付	千葉側	原付	自転車	原付
		1.00	1.00	1.01	1.01	0.99	0.99	0.99	0.99

【整備計画】

東京側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。
千葉側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第3駐輪場の縮小を検討する。

整備計画図											
全体		乗入 台数	伸び率	伸び率 の台数	新規 需要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数			
計		4,197	—	4,209	0	4,209	5,074	—			
自転車		3,502	1.00	3,511	0	3,511	4,225	—			
原付		695	1.00	698	0	698	849	—			



千葉側	乗入 台数	伸び率	伸び率 の台数	新規 需要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	1,483	—	1,468	0	1,468	1,919	—
自転車	1,275	0.99	1,262	0	1,262	1,610	—
原付	208	0.99	206	0	206	309	—

◆整備内容

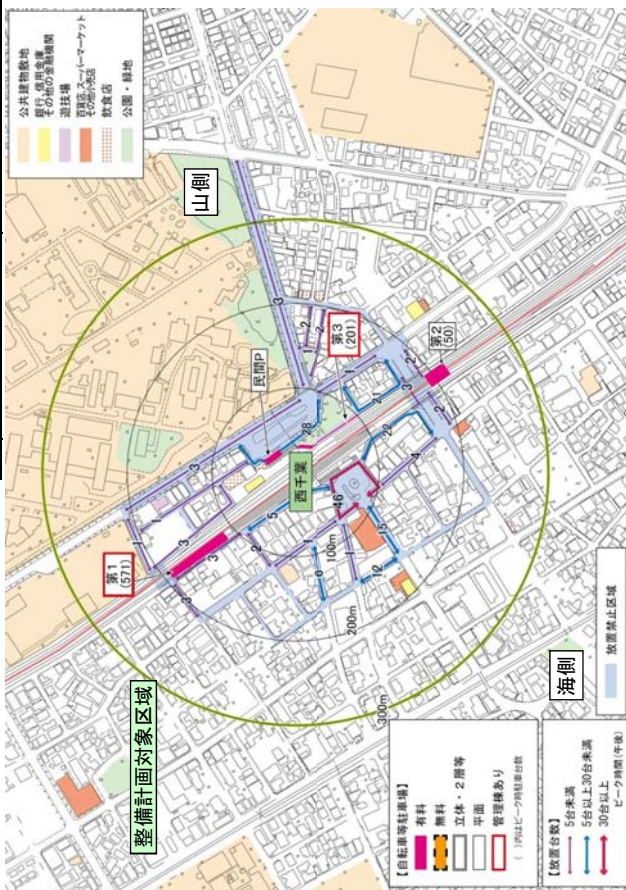
駅口	駐輪場	整備手法		台数		一時利用		整備		主体	
		現況(原付)	整備(原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	時期	用地	整備	運営
東京側	第1	3,155 (540)	0 (0)	3,155 (540)	200 (50)	200 (50)	200 (50)	—	JR	市	市
	計	3,155 (540)	0 (0)	3,155 (540)	200 (50)	200 (50)	200 (50)	—	JR	市	市
千葉側	第2	825 (115)	944 (194)	825 (115)	100 (10)	100 (10)	100 (10)	—	JR	市	市
	第3	944 (194)	451 (103)	944 (194)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	JR	市	市
計	第4	150 (0)	451 (103)	150 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	民	市	市
	計	1,919 (309)	451 (103)	1,919 (309)	100 (10)	100 (10)	100 (10)	—	民	市	市
駅計		5,074 (849)	451 (103)	5,074 (849)	300 (60)	300 (60)	300 (60)	—			

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

西千葉駅は、1日平均乗車人員が約2万3千人、自転車等の乗入台数は約1,100台である。
駐輪場は線路高架下に2箇所、山側に1箇所設置しており、収容台数は2,402台となっている。

駐車台数・放置台数		全体		ピーク時乗入台数		収容	
測定日：平成27年6月2日		図はピーク時の台数を示している。		計		計	
				自転車		自転車	
				原付		原付	
				80		11	
				69		112	



海側	乗入 台数	収容		山側	乗入 台数	収容	
		駐車	放置			駐車	放置
計	424	302	122	計	663	592	71
自転車	385	269	116	自転車	622	556	66
原付	39	33	6	原付	41	36	5

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	23,396人/日

(H26千葉市統計書)

【需要推計】

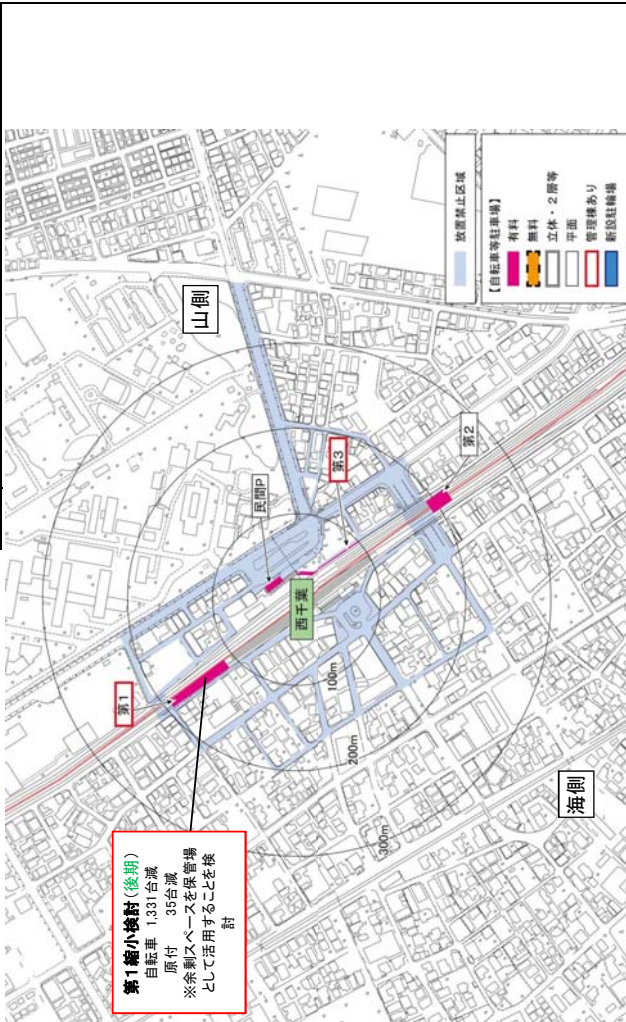
西千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は1036台と推計しており、現在の収容台数は2,402台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の 伸び率	全体		海側	山側		原付	
	自転車	原付		自転車	原付	自転車	原付
	0.95	0.96		0.99	0.99	0.93	0.93

【整備計画】

海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
なお、第1駐輪場の余剰スペースを保管場として活用することを検討する。

整備計画図										
全体		乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数		
計		1,087	—	1,036	0	1,036	2,402	—		
自転車		1,007	0.95	959	0	959	2,290	—		
原付		80	0.96	77	0	77	112	—		



海側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数	山側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	不足 台数
計	424	—	420	0	420	1,127	—	計	663	—	616	0	616	1,275	—
自転車	385	0.99	381	0	381	1,065	—	自転車	622	0.93	578	0	578	1,225	—
原付	39	0.99	39	0	39	62	—	原付	41	0.93	38	0	38	50	—

◆整備内容

駅口 駐輪場	整備手法	台数		一時利用(内数)		整備 時期		主体	
		現況(原付)	整備(原付)	現況(原付)	計画(原付)	現況(原付)	計画(原付)	用地	運営
海側	第1縮小検討	1,000	(50)	293	(27)	100	(10)	JR	市
	第2	127	(62)	127	(12)	0	(0)	JR	市
山側	第1縮小検討	1,000	(50)	241	(38)	0	(0)	JR	市
	第3	203	(0)	203	(0)	203	(0)	民	市
民間P		72	(0)	72	(0)	72	(0)	民	民
	計	1,275	(50)	616	(38)	275	(0)		
駅計		2,402	(112)	1,366	(35)	1,036	(77)		

※主体欄：市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

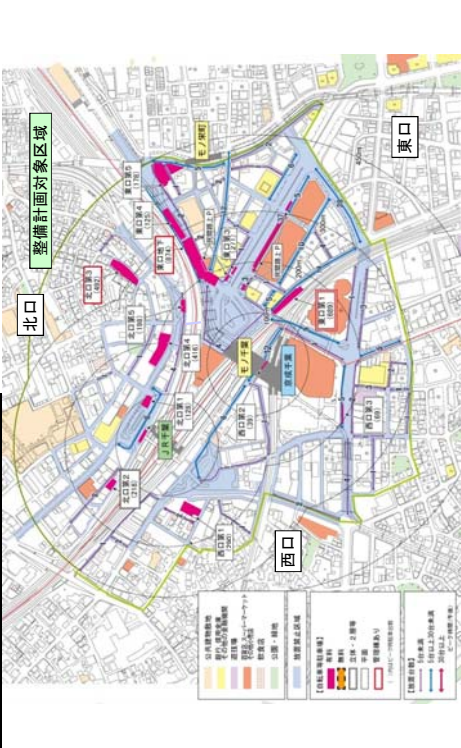
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

千葉駅・栄町駅

【現状】

千葉駅は、旧線・京成線・モジュールが乗り入れ、1日平均乗車人員は約13万人に市内で最も多く、自転車等の乗り入れ台数も約4,500台と最も多い。
北口には5箇所設置しており、収容台数は5,046台となっている。
北口には3箇所、東口には6箇所、西口には5箇所設置しており、収容台数は5,046台となっている。

乗車台数・収容台数			
北口			
乗入	乗出	乗入	乗出
4,495	4,256	239	5,046
4,044	3,827	217	4,471
原付	451	429	22
575			
計	1,469	1,452	17
1,835			
原付	175	173	2
252			



乗入・乗出・収容台数			
東口			
乗入	乗出	乗入	乗出
446	446	446	446
403	403	403	403
原付	43	43	43
40			
283			

乗入・乗出・収容台数			
西口			
乗入	乗出	乗入	乗出
446	446	446	446
403	403	403	403
原付	43	43	43
40			
283			

【重要推計】
千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は4,608台と推計している。駅全体の収容台数は5,004台であり、充足しているが、東口、西口では既にオーバーフローしている。既存駐車場の移転や再整備が必要となっている。なお、西口では既にオーバーフローしているウエストビルの商業活動による新規需要が見込まれる。北口では、駅前の第4号用地が用地による駐車場の再整備を行う必要があり、今後、地権者から用地の返還請求が予想されることから、路上駐車場の活用や既存駐車場の再整備を行う必要がある。

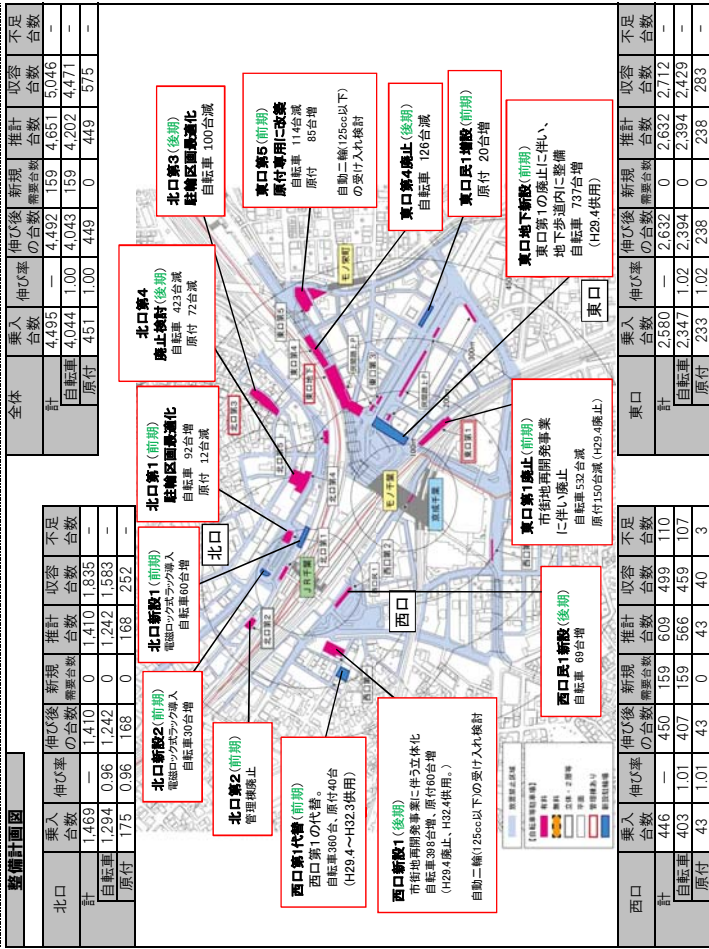
計画期間(H33)の伸び率			
全体			
自転車	原付	自転車	原付
1.00	1.00	0.96	0.96
北口	1.01	1.01	1.02

西口再開発事業地区ビル閉鎖により指定される自転車乗入需要			
西口再開発事業地区ビル閉鎖により指定される自転車乗入需要			
面積	必要台数	必要台数	必要台数
446	446	446	446
403	403	403	403
原付	43	43	43
40			
283			

※主休欄：市・千葉市、JR・京成電鉄、モジュールは民間事業者
※整備時期：前期：H28～H30 後期：H31～H33

【整備計画】

北口では、北口第4号の地権者からの用地返還請求を待たず、駅広や広歩道を活用した路上駐車場の整備を行う。
西口では、市街地再開発事業により西口第1号を立体駐車場へ改築する。
東口では、市街地再開発事業により東口第1号を立体駐車場へ改築する。



整備計画			
北口			
乗入	乗出	乗入	乗出
4,495	4,256	239	5,046
4,044	3,827	217	4,471
原付	451	429	22
575			
計	1,469	1,452	17
1,835			
原付	175	173	2
252			

※主休欄：市・千葉市、JR・京成電鉄、モジュールは民間事業者
※整備時期：前期：H28～H30 後期：H31～H33